

Rotary 八尾ロータリークラブ 会報

2016
vol.56
No.11

9/21



人類に
奉仕する
ロータリー

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



八尾RCバナーの主旨
「我々のクラブは、若いも若きも
相手を敬愛し、和気あいあい、
楽しいクラブライフを送っている
ことが誇りであります」

国際ロータリー テーマ

**人類に奉仕する
ロータリー**

国際ロータリー 会長 ジョン・ジャーム

八尾ロータリークラブ テーマ

**奉仕への情熱と創意を
積み重ね、品格を高めよう**

会長 山本 昌市

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

**The Ideal of Service
ロータリーの根幹精神**

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 松本 進也

第2693回 例会 プログラム

▼開会「点鐘」

▼ロータリーソング

「我等の生業」

▼ゲストの紹介

大阪ガス 長門 晃 様

富尾 博之 様

米山奨学会 三宅 建 様

▼ビジター紹介

ガバナー補佐 林 芳繁 様

(大阪柏原RC)

ガバナー補佐エレクト

百済 洋一 様

(東大阪中央RC)

▼出席報告

▼その他の報告

▼会務報告

「会長の時間」「幹事の時間」

▼SAA報告 ニコニコ箱

▼卓話「電力自由化を語る」

大阪ガス

長門晃様、富尾博之様

▼閉会「点鐘」

▼卓話予告

9/28 池尻 誠 元会長

10/5 若林 紀男 元ガバナー
(大阪東RC)

10/12 ガバナー公式訪問

10/19 「Vocational Serviceの
原点を探る」 山片重房様
(東大阪みどりRC)

10/26 中島元会長

会長の時間

次週は、ガバナー補佐による
クラブ協議会でございます。特

に新会員の方々は、ロータリー
を知る上においても今後のクラ
ブ活動にも参考になると思いま
すので、必ず出席して下さい。

さて、本日は、敬老の日にち
なんで、はなしをしたいと思います。

生物は自己の遺伝子を、多く
の子孫に残すことで繁栄し続け
ます。繁殖こそが生物の最重要
課題です。繁殖活動後は生き
ながらえる意味はないと考えら
れています。

しかし、人類は生殖可能年齢
以降の生存が、年々長くなって
います。老化とは、成熟し達した
後にくる加齢変化であり、人間
だけが長い過程を経験し、老化

の意味が問われる事になります。

人間は動物であり、子孫を残すこと、繁殖こそが、生まれてきた最大の使命と考えられます。長く生きることで、身体的、経済的な苦勞、認知症の問題、高齢者のうつ、孤独等いろいろな困難に遭遇します。若い頃には強い欲があります。車が欲しい、家が欲しい、出世がしたい、贅沢な生活に憧れます。年をとると、その様な欲は1枚1枚剥がれていきます。

人生後の意義は、自分の中にある本源的な価値に向かっていくために、残された時間とっています。生まれ出た生き物は、盛りを過ぎればやがて滅びて行きます。この自然界の法則、人間も例外ではない。枯れないものはない。いかに枯れるかが、問題です。

人間以外の動物には、老後の暮らしはありません。野生動物には、自然の厳しい掟が有り、老齢で生きながらえることは極めて難しい。しかし、人間だけが長寿社会を作り上げ、現代日本では、老人の問題に関心が寄せられています。

平均寿命がどんどん延びている現代日本、だからと言って、子供時代や青春時代が、延びている訳ではありません。老いを迎えてからの、いわゆる「枯れの季節」が非常に長くなったという事です。老いを感じる瞬間というのは、誰にでもいつか訪れるも

のです。

桜の散り際に美を感じるように、老いてから始まる、枯れの季節にしか得る事が出来ない、貴重な何かがあるはず。気付くのは突然でも、それはそれぞれが、歩んできた道のりに続く、人生の一部だとおもいます。

よく、得た「経験」は、「亀の甲より年の功」といいます。そこには人を助け、自分も幸せになるように、ヒントが、詰まっているということです。この歳だからこれをしてはいけない、この歳だからこうしなくてはならないなど、自分の生き方を、年齢で判断するべきでないと思います。興味のあることに挑戦し、積極的に外へ出て行くことで、若い世代に知恵を伝えるのも、大事な事ではないでしょうか。

自分とは、自分の生い立ちから現代までの、全ての記憶とも言えます。色々な人との思いで、記憶の集合体が自分だと思えます。

まさに、「自分とは記憶なり」です。人間の脳の神経細胞は、生まれてから死ぬまで同じ神経細胞です。だから、若い頃の記憶が死ぬまで懐かしく再生出来るのです。

昔のように老後の子供に看てもらふ事はもはや期待出来ない、厳しい現状があります。現代の「人」には、一人で立つ強さが必要なかもしれません。

大切な事は、先の事を思わず、

今をしっかりと楽しむことではないでしょうか。

幹事報告

▼本日インターアクトの地区合同会議が開かれ、田中・吉田・中西(広)会員に出席いただきます。

▼17日に金光八尾中学・高校の文化祭が開催されます。

▼17日、地区の職業奉仕勉強会が開かれ、長竹会員に出席いただきます。

▼17日、地区の社会奉仕委員長会議が行われ、井川・宮川会員に参加いただきます。

▼次週例会後、クラブ協議会を開催します。理事役員の皆様はご出席ください。また活動計画をご持参ください。

▼クールビズは9月末までの予定です。

その他の報告

▼地区インターアクト委員会・田中 康正 委員

17日に金光八尾の文化祭でバザーを実施します。収益金はポリオ撲滅に寄付いただく予定です。商品をご提供いただいた皆様、ありがとうございます。

卓話

「田植え、稲刈り」

▼大阪柏原RC・

小原 進 会長

子供の頃に田植えや稲刈りの経験を、子供たちにさせてやり



たい。

最近の50～60年の間に日本は工業化に成功し、すばらしい経済成長を遂げ、個人生活、家庭生活、社会生活が一変した。食事にも実に多様化した。

しかし、主食は米や麦や豆類といったものが中心であることに変わりはない。自分たちが毎日食べるものがどのようにして作られるのかという事を子供の頃に自分の目で見て、実際に体験しておくことは重要な事であると思う。

今から62年位前には、電気とラジオはあったけれど、水道、ガス、車、テレビは普通の家にはなかった。農家では牛や馬を使役用に飼っていた。我が家では鶏や山羊も飼っていた。

私は男5人兄弟の4番目であったが、毎日家の手伝いが沢山あった。たとえば、牛に食べさせる草刈り、牛小屋の掃除、鶏や山羊の世話、風呂の水を井戸から汲み、バケツで運び風呂桶に入れ、風呂焚きをする。

背の低い小学生にとって、自分の頭の上くらいの高さの風呂の窓から何杯ものバケツの水を運んで入れるのはかなりの肉体

労働であった。

田畑も1町程あったので、農作業がかなり忙しく、子供だからといって遊んでは居れなかった。「働かざるもの食うべからず」と親によく言われた。当時は2毛作であったので夏には稲を、冬には麦を作っていた。麦踏みも懐かしい。

さらに、冬には山に行ってお木を切り倒し原木を持ち帰り、庭で割り木作りをした。秋から冬にかけて畑で野菜を作ったり、春になるとサツマイモの苗の温床を作ったり、タケノコ堀り、そして稲作のための苗代の準備等々。

僕が小学4年の時、我が家に一大事が起こった。中学校の校長をしていた父が校長会の帰りに事故に遭い、脳挫傷で40日間意識不明の重態となった。

幸い一命は取り留めたが、以後、教師の仕事は難しくなり、農作業も困難になった。牛を使ったり、発動機や脱穀機の操作はすべて子供達でせねばならなくなった。

今思えば、農作業は体力的につらく、よその子供のように夕方の家族団らん等はなく、夕食は月夜の道を帰ってするもので精神的にも落ち込む事が多かったが、無事に稲刈り、脱穀、もみすり等を済ませた時の達成感を味わえた。

労働の喜びを母親は身をもって教えてくれたのだなと後になって感謝している。忍耐力もそ

れで養われたと思う。

農業は一次産業であり、二次～四次産業を学ぶ前に自ら実践する必要がある。世の中にあるんな仕事があるが、農業は基礎の基礎で、そこから色々な応用問題に取り組むのが良いと思う。

子供の頃からゲーム機で夜更かしをして疲れるよりも、農業を手伝って疲れて熟睡するほうが、体にも心にも健康的だと思いませんか。

しかし今の日本はそういう環境にない事も良くわかる。大人には住みやすい日本になったが、子供が正しく育ち難い世の中になったと思う。

米作りに必要な作業：

池に貯水(数年に1度は掃除—ドブさらえ)、溝掃除、堆肥作り、下肥、(麦踏み、麦刈り)、縄緬い、荒ずき、くれ返し、寄り合い、シロずき、畦ずき、畦塗り、苗代、苗引き、苗放り、田植え、豆豆小豆、浮き苗、水の管理、畦の草刈、田の草取り、稗引き、〔除草剤〕、肥やし(窒素、リン酸、カリ)、見廻り(水、虫、いもち病)、稲刈り、稲くくり、稲木、稲木かけ、脱穀、つぼき、籾を乾燥、籾摺り、精米

ニコニコ箱

▼大阪柏原RC・伊谷祐一様
本日よろしくお願ひします。

▼山本(昌)会長 本日、交換

今後の予定

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
					越中八尾RC訪問	
5	6	7	8	9	10	11
		理事会				
12	13	14	15	16	17	18
					金光八尾文化祭	
19	20	21	22	23	24	25
		クラブ協議会				
26	27	28	29	30		

9月

月	火	水	木	金	土	日
31					1	2
					経済と地域社会の発展月間 ／米山月間	
3	4	5	6	7	8	9
		理事会				
10	11	12	13	14	15	16
		ガバナー公式訪問				
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

卓話の大阪柏原RC会長の脳神経外科の小原先生よろしくお願ひ申し上げます。

▼田中副会長 昨日、春日台CCへ行きましたが誰も来てませんでした。1ヶ月早くコンペに参加しました。写真有難う。

▼山陰幹事 大阪柏原RC小原会長、伊谷幹事ようこそおいで下さいました。卓話よろしくお願ひします。

▼松本会員 例会欠席お詫び。

▼寺坂・中川(将)・村本・山本(勝)・菅野・今西・稲田・飯田・津田・中西(広)宮川・大槻・福田会員 写真有難う。

▼中川(廣)会員 良い事が有

ります様に。バッジ忘れ。例会欠席お詫び。

▼井川会員 小原会長、ようこそお出で下さいました。卓話よろしくお願ひいたします。

▼笠井会員 誕生内祝い。例会欠席お詫び。

▼宇野会員 例会終了後ロータリーカフェあります。よろしく。

▼川田会員 佐野会員、お世話になりました。

▼山田会員 在籍内祝い。

▼吉本会員 小原会員、ようこそお越し下さいました。卓話よろしくお願ひいたします。誕生内祝い。

▼濱岡会員 いつもニコニコへの御協力誠に有難うございます。

▼松井会員 長竹さん場末のスナック堪能しました。ありがとう！

▼長竹会員 八尾河内音頭まつり来場者数 67,500人でした。

▼野村会員 松井さん、長竹さん先日はありがとうございました。長竹さん素晴らしいお店でした。写真有難う。

▼児林会員 写真有難う。早退。

▼小谷会員 田中副会長、1ヶ月早いゴルフコンペにご参加いただきありがとうございました。10月13日お待ち申しております。

▼幡田会員 誕生内祝い。写真有難う。

出席報告

月日	会員数	出席	(内出席規定適用免除者)	出席率	メイクアップ	確定出席率
8/31	57	45	7	86.54%	2	90.38%
9/7	57	40	5	80.00%		
9/14	57	40	8	76.92%		